

# 吉川道隆市政報告

創刊号  
2001.1

二十一世紀、新しい時代の幕開けとなりました。

明るい未来を期待したいところではありますが、現代の政治・経済・社会には、考えられないような事件ばかりが起こっています。このような社会を建てなおすには、何から手を付けていいか、わからない状態です。

高萩市としても、例に漏れず、さまざまな問題を抱えております。これらの問題解決のために、私達、市会議員は、日々努力しているわけですが、平成十二年度、私が、議会にて行いました一般質問と、それに対する市長及び関係各課の答弁、市の現状について、御報告致します。

市民の皆様と共に、よりよい街づくりのため、今年一年がんばりたいと思っておりますので、御指導・御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 平成十二年三月定例議会

### 情報公開条例の制定について

住民の住民による住民のためのガラス張りの行政を実現するために不可欠な「情報公開条例」の早期制定を提案したところ、平成十二年度中に制定、十三年四月一日施行になるとの事であった。

その提案どおり、十二月議会で議論の末、議決した。この制度については、市民の皆さんが活用しなければ、無意味となるので、どんどん活用してください。詳細については、二月の議会だよりの議案質疑のところを見てください。

## 平成十二年九月定例議会

### 市町村合併推進について

より専門的に効率良く行政を進めるため、北茨城市と十王町の二市一町の合併を推進すべきであるが、合併に対する意向はどうか。議会の中で合併の特別委員会を設置し、検討を進めてはどうか。と、尋ねたところ、市長の答弁では、合併に対し、前向きに考えている、県からのアドバイスを受けながら、進めていきたいと答えている。住民の識が高まれば、合併が現実になるとの答弁であった。

### 市債について

大都市では、一般市民も市債を買うことができる。しかも、金利が、三%前後で、通常の銀行の金利〇、一五%と比べるとはるかに多い。高萩市でも、一般市民が買えるようにしてはどうかと質問したところ、小さい市町村では、国・県から補助をうけている関係上、独自に運用することは、難しいという返事であったが、私の調べでは、県、又は国の指導のもと小さい市町村でも可能である。

## 平成十二年十二月定例議会

### 塩漬け用地について

市の財政規模に占める塩漬け用地の保有額の割合は三七%で、健全な財政維持が出来ない状態である。年間利息が約六〇〇万円以上にも及ぶ塩漬け用地に対して検討されている施策はあるか。他の公共団体では、一般公募による抽選で売り出した。高萩市も、企業以外の用途、値下げした価格で、何とか売却すべきだと思いい、今後の方向性を確認した。土地購入は、市民からの大切な税金を無駄にしないよう、よく考えて頂くようお願いした。

市長は、これらの土地については、利用目的を持って所有しているの、塩漬け用地とは、認識していない。今後とも、分譲価格について柔軟に対応し、企業誘致に鋭意努力していく。奨励金制度をとっているの、市の財政が厳しい中で、販売価格は下げず、積極的に分譲を進めていきたい。利用度が薄くなった土地については、市民に適正な価格で買っていただくということで進めている。

このような答弁であるが、いつまでも、借金ばかり増やして要らない土地を抱えているということの重大さを少し、切迫感をもって考えていただきたいものである。

### ゴミ処理問題について

排出規制が厳しくなる平成十四年十二月まで、施設新設は間に合わない。当面の対応として、日立市に依頼することが最善策ではないか。行政の広域化・市町村合併が進められているが、ゴミ処理も、大きな施設でまとめて処理する方が、ダイオキシン発生を押さえられるので、今後の環境のために、広域化が大きな課題であると指摘した。

市長は、十王町長と共に、日立市に対し、協力の要請をしてあり、暫定的にであれば、前向きに検討していただけたらということになっているとのこと。

分別方法、減量化については、ゴミ袋の有料化など、高萩十王組合で十分審議していきたい。資源ゴミ、不燃ゴミは、日立でも一杯なのでそのような施設だけは造るか、一般の業者に依頼するかということになる。

高萩市では、建設地の問題で、いつまでも話が進まない。もっと早く何とかすべきだったと思うが、とりあえず、今の状況を少しでも改善できるように対策をとれるよう、考えなければいけないだろう。

## 所感

高萩市としての今の最大の問題は、ゴミ処理問題と財政状況の悪化であると思われる。その他にも、福祉、教育、医療等、まだまだ解決しなければ行けない問題が、山積である。これらの問題を改善するために予算が取れなければ、まともな対策はとれなくなってしまう。塩漬けになっている、工業・住宅団地・市保有地を何とか処理して、借入利息による財政への影響を減らしていかなければいけないと考えている。